

# 長崎県の空港を知ろう

長崎県には、国管理空港である長崎空港（国土交通省所管）と大村飛行場（防衛省所管）および5つの長崎県管理空港があります。県管理空港は離島に位置する福江空港、対馬空港、壱岐空港、上五島空港、小値賀空港で、離島の空の玄関口として島民の方々や島外からの観光客の利用など、身近な空港として活用されています。

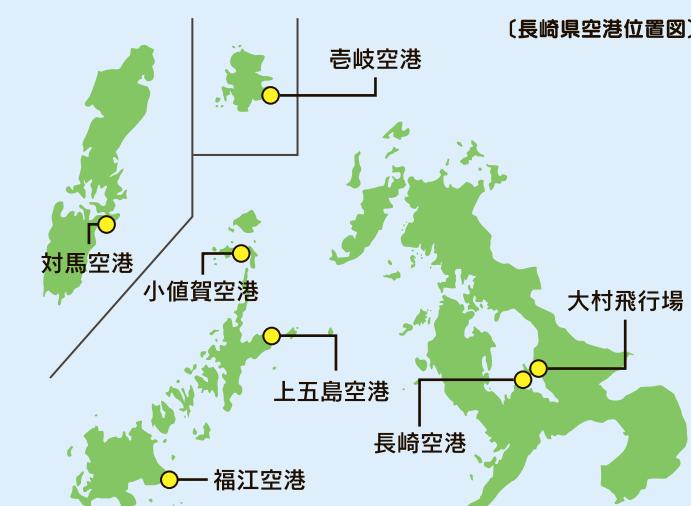
## 長崎県が管理する離島の空港

九州の西端に位置し、五島列島、対馬、壱岐の大型離島を有する長崎県にとって、航空路線は県内外を結ぶ重要な交通手段であり、離島の空港はその拠点となっています。また、島民の利便性向上、交流人口の拡大、県産品の流通促進など地域振興における重要な施設でもあります。離島の空港には、ボンバルディアDHC8-Q400、ボンバルディアDHC-8-201が就航しています。10月末まではボーイング737-500も対馬空港に就航していました。長崎県では、安全な運航が行われるよう、県管理空港の維持管理工事を行っています。

### 対馬空港（愛称：対馬やまねこ空港）



対馬空港では、平成25年から滑走路舗装改良工事と照明施設更新工事を行っており、平成32年度に完了予定です。



### 福江空港（愛称：五島つばき空港）



福江空港では、静岡空港や小牧空港などの観光ツアーのチャーター便の利用が年間20回程度あります。平成30年度は韓国・済州島を結ぶチャーター便も運航しました。



### 壱岐空港



壱岐空港では、5月から新しい気象観測装置の設置工事が行われています。観測されたデータは天気予報にも使われています。



### 小値賀空港



上五島空港、小値賀空港は、平成18年に定期便は休止されましたが、急患搬送や医師搬送のヘリコプター発着に利用されており、離島医療に貢献しています。



### 上五島空港



上五島空港では、10月に新上五島町主催の星空観測会が行われ、70人の一般参加者が集まりました。



## 長崎空港

長崎空港は、世界初の本格的な海上空港として昭和50年5月1日滑走路長2,500mで供用開始しました。その後、昭和55年4月1日、航空機の大型化・高速化に対応するため滑走路を3,000mに拡張しました。近年、インバウンドや格安航空会社の乗り入れもあり、平成29年の年間利用者は316万人と年々増加しています。

空港西側には、ツツジやサツキで“NAGASAKI”を表した花文字山があり、空港利用者を出迎えています。平成28年には一般家庭の約7500世帯分の電力を発電するメガソーラー発電所も稼動しました。また、毎年秋には、飛行機の機体見学など親子で楽しめる“空の日”フェスタが開催されています。



開港当初の長崎空港(昭和50年)

現在の長崎空港(平成30年9月)  
(九州地方整備局・長崎港湾・空港整備事務所提供)



長崎空港開港式(昭和50年)

長崎空港空の日イベントでの空港化学消防車の一般開放の様子(長崎空港事務所提供)



ボーイング737-500

ボンバルディアDHC8-Q400

ボンバルディアDHC-8-201



長崎空港花文字NAGASAKI

### 空港のデータ(平成29年度末時点)

空港名	長崎空港	福江空港	対馬空港	壱岐空港	上五島空港	小値賀空港
供用開始	昭和50年	昭和38年	昭和50年	昭和41年	昭和56年	昭和60年
滑走路	3000m	2000m	1900m	1200m	800m	800m
旅客者数(H29年度)	国内:3,105千人 国際:54千人	141千人	246千人	33千人	—	—
就航路線	国内:9 国際:2	長崎 福岡	長崎 福岡	長崎	—	—
航空会社	JAL、 ANA、ORC他	ORC ANA	ORC ANA	ORC	—	—